

緊急連絡先

火災・救急・救助

消防 **119**

○田川地区消防署 川崎分署

0947-72-3007

緊急

警察 **110**

○田川警察署 川崎警部交番

0947-73-2600

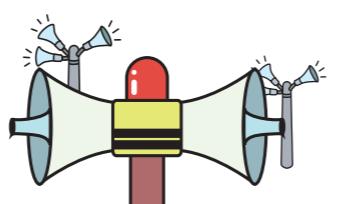
川崎町無線放送の音声案内

放送内容を聞きもらした時などには下記の電話番号でご確認いただけます。

※一斉放送に限ります。

フリーアクセスサービス（料金はかかりません）

0800-200-2575



災害用伝言ダイヤル



忘れてイナイ（171）？ 災害伝言171
災害によって電話が通じなくなった時のために、
災害用伝言ダイヤル**171**を覚えておきましょう。
毎月1日に体験利用できるようになっていますので、
いざという時のために試しておくとよいでしょう。

伝言を録音する時

1 7 1 + 1 + 自分の電話番号
(携帯電話の番号は不可) → 伝言を吹き込む

伝言を再生する時

1 7 1 + 2 + 連絡を取りたい方の
電話番号 → 伝言を聞く

川崎町 防災マップ 平成27年4月発行

発行 川崎町

編集 防災管財課

お問い合わせ 0947-72-3000



川崎町

<http://www.town-kawasaki.com/>

川崎町 KAWASAKI
Disaster Contingency Map

防災マップ[®]

知識と備え
改訂版
見える場所に保管して
お使い下さい。

自分の命や財産は
自分で守る

自助



地域みんなで
協力・助け合い

共助



行政による
防災対策

公助



協力
連携

災害はいつ起きても不思議ではありません。
この防災マップはいつ起きるかわからない災害に
対しての意識を高めて頂くために作成しました。
災害からかけがえのない命や財産を守るために、
日頃から備えておくとともに本冊子を
ご活用ください。



災害時の心構え

避難時の心得

避難の呼びかけに注意を	動きやすい服装、2人以上の避難	安全な避難路の確認を
危険が迫ったときは、役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。	洪水のはだし、長靴は禁物です。避難する時は、動きやすい服装で、2人以上の避難を心がけましょう。	マップで避難所の位置や土砂災害危険箇所等を前もって確認しておきましょう。避難所までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。
車での避難は控えて	避難する前に	正確な情報収集と自主的避難を
車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合を除き、やめましょう。	避難する前に、電気・ガス等の火元を消し、避難場所を確認しましょう。また、親戚や知人等に避難する旨を連絡しておきましょう。	ラジオ・テレビで最新の気象情報・災害情報・避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
早めの避難をこころがけましょう	指定された場所への避難が困難な場合	避難所では
土砂災害は多くの場合、被害の発生・拡大に時間的余裕はありません。早めの避難を心がけましょう。避難勧告などは、危険が迫ったときに出されますので、速やかに避難しましょう。	万が一危険がせまったときは、近くの丈夫で高い建物に避難しましょう。無理に出歩くことはかえって危険です。	避難所では町職員の指示に従いましょう。町や、テレビ・ラジオからの情報を聞いて、落ち着いて行動してください。

要援護者への協力を

体の不自由な方やお年寄りの方は避難することが困難であったり、遅れたりすることがあるため、地域の皆さんで協力して助けあいましょう。

高齢者や病気の方	目の不自由な方
災害時にはあんぶして安全な場所まで避難する。 特に一人暮らしのお年寄りの方には普段から気を配りましょう。	「あ手伝いしましょうか」などと大きな声でゆっくり話しましょう。 杖を持っていない側にまわり、ひじのあたりを軽く持ち、半歩前をゆっくりと歩きましょう。
体の不自由な方や寝たきりの方	耳の不自由な方
複数の人で協力しましょう。 緊急の際は、ヒモなどであぶって避難しましょう。 車いすの場合は、必ず3人以上で協力し、上がるときは前向き、下がるときは後ろ向きで避難しましょう。	話すときは近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向けて口を大きくはっきりと動かしましょう。 紙に書いたり、身振りなどで情報をわかりやすく伝えましょう。

外国人の中には、防災行政無線の内容等が理解できない方もおられます。周囲の方が声をかけ、一緒に避難しましょう。

土砂災害への備え

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害には、「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」の3つの種類があり、これらが発生するときには、何らかの前兆現象が現われることがあります。下に挙げたものは主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。



こんな前ぶれに注意！



○土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

黄色で囲まれた範囲は、土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害警戒区域



土砂災害特警戒区域



土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

赤色で囲まれた範囲は、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



土砂災害警戒情報



大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が高まったとき、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、気象や雨量、土砂災害危険箇所の状況に注意し、早めに避難してください。

風水害への備え

風水害発生時の心得

家財道具の移動、家周りの点検

台風が近づいている時は家の周りの物を玄関に入れるなどして片付け、物干し竿などは先に倒しておこう。

近くの川の水位上昇に注意する

近くの川の水位が上昇していたら、浸水の恐れがあるので、川岸の家は特に警戒が必要。

防災放送を聞き逃さない

避難誘導などの防災行政無線や呼びかけには注意し、町役場・消防署・警察署などの指示に従って行動しよう。

災害時要援護者の安全を確保

高齢者や傷病者は背中に背負い、子供には浮き輪やベビーバスなどを利用して避難しよう。



避難経路の安全を確認

避難するときに腰まで水に浸かるようなら、無理をせず高い場所に避難してから救援を呼ぼう。

安全に避難する

単独行動を避け、はぐれないようにお互いの体をロープなどでつなぐなどしてから避難しよう。



履き物に注意

素足は厳禁。脱げやすい靴も×。長靴は水が入ると歩きにくくなるので、ひもで結べる運動靴が最適。



逃げ遅れたときは

万が一、逃げ遅れた時は近くの丈夫な建物の2階以上に避難しよう。



足下に注意

歩きなれた道でも、洪水時は危険。長い棒などで安全を確認しながら避難しよう。



はん濫の種類

洪水には、河川の堤防が決壊したり堤防から水があふれて起きる「外水はん濫」と、街中に降った雨が川に排出できなくなり下水路や水路などから水があふれ出す「内水はん濫」があります。



集中豪雨の前兆

- 空が真っ暗になり、雷鳴や稲妻が走る。
- 冷たい風が吹き出したら注意。
- 大粒の雨やひょうが降り始める。
- 川の水かさが増えたり、濁る。



雨の強さと降り方（1時間雨量）※ゲリラ豪雨等により20mm～30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

10～20mm やや強い雨



地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

20～30mm 強い雨



土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの大降水量です。小河川のはん濫や、がけ崩れの心配もあります。避難の準備を。

30～50mm 激しい雨



バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

50～80mm 非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川のはん濫し、水害発生の可能性が高まります。

80mm以上 猛烈な雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

風の強さと吹き方

※瞬間最大風速は、1.5倍から3倍になる場合があります。

予報用語 平均風速(m/s)	《やや強い風》 10～15	《強い風》 15～20	《非常に強い風》 20～25	《猛烈な風》 25～30
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。	立っていられない。屋外での行動は危険。
建造物の被害	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。	ビニールハウスが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	プロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材がはがれ、飛び始める。

川崎町の避難情報発令基準

○水害における発令判断基準

避難準備情報 自主避難の目安に! 要援護者避難!

- 中元寺川においては、大雨（浸水害）・洪水警報が発表され、古屋敷観測所^{※1}の水位が氾濫注意水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき
- ※水位表示箇所についても同様の水位情報を基準とする。
- 流域雨量指数^{※2}が基準値（中元寺川流域=12）に達したとき
- その他（内水を含む）においては、河川の特性、要援護者等の住宅・施設の状況及び今後の気象予想等を考慮し、町長が発令すべきと判断したとき

避難勧告 避難してください!

- 中元寺川においては、大雨（浸水害）・洪水警報が発表され、古屋敷観測所の水位が氾濫注意水位を大幅に超えて、さらに水位が上昇すると見込まれたとき
- ※水位表示箇所についても同様の水位情報を基準とする。
- 破堤につながる恐れのある漏水等が発見されたとき
- その他（内水を含む）においては、河川の特性、要援護者等の住宅・施設の状況及び今後の気象予想等を考慮し、町長が発令すべきと判断したとき

避難指示 直ちに避難行動を!

- 中元寺川においては、大雨（浸水害）・洪水警報が発表され、古屋敷観測所の水位が氾濫危険水位を超えたとき
- ※水位表示箇所についても同様の水位情報を基準とする。
- 堤防決壊又は破堤につながるような大量の漏水や亀裂等が発見されたとき
- その他（内水を含む）においては、河川の特性、要援護者等の住宅・施設の状況及び今後の気象予想等を考慮し、町長が発令すべきと判断したとき

○土砂災害における発令判断基準

避難準備情報 自主避難の目安に! 要援護者避難!

- ～④のいずれか1つに該当する場合に、避難準備情報を発令するものとする。
- 大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害警戒判定メッシュ情報で大雨警報の土壤雨量指基準を超過した場合
- 数時間後に避難経路等の事前通行規制等の基準値に達することが想定される場合
- 大雨注意報が発表され、当該注意報の中で、夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が言及されている場合
- 強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合

避難勧告 避難してください!

- ～④のいずれか1つに該当する場合に、避難勧告を発令するものとする。
- 土砂災害警戒情報が発表された場合
- 大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害警戒判定メッシュ情報の予測値で土砂災害警戒情報の判定基準を超過し、さらに降雨が継続する見込みである場合
- 大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、記録的短時間大雨情報が発表された場合
- 土砂災害の前兆現象（湧き水・地下水の濁り、渓流の水量の変化等）が発見された場合

避難指示 直ちに避難行動を!

- ～⑤のいずれか1つに該当する場合に、避難指示を発令するものとする。
- 土砂災害警戒情報が発表され、かつ、土砂災害警戒情報を補足する情報で土砂災害警戒情報の基準を実況で超過した場合
- 土砂災害警戒情報が発表されており、さらに記録的短時間大雨情報が発表された場合
- 土砂災害が発生した場合
- 山鳴り、流木の流出の発生が確認された場合
- 避難勧告等による立ち退き避難が十分でなく、再度、立ち退き避難を住民に促す必要がある場合

(平成26年9月「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」を参考)

地震への備え

地震が発生したら

地震はいつ起こるか分かりません。地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

地震発生!

揺れが収まってから行動する

家屋倒壊などのおそれがある場合、土砂災害の危険が予想される地域は、**すぐ避難**

沿岸部は津波のおそれがあるので**高台に避難**

身の安全を守る

揺れを感じたら、テーブルや机の下に身を隠し、布団や座布団で頭を保護する。



非常脱出口の確保

周囲の状況をよく確かめて、慌てて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動する。



すばやく火の始末をする

揺れが激しい場合は、揺れが収まってから火の始末をする。



地震後の行動

余震には十分気をつけて行動しましょう

火元を確認

出火がある場合は、落ち着いて初期消火する。



揺れが収まても油断しない

改めて家族や同居人の安全を確認する。ラジオ・テレビ等で正しい情報を入手する。



避難する時は慌てずに

家から離れるときは、外出中の家族に行き先を書いたメモを立つ場所に残す。必ず徒歩で避難する。服装は活動しやすいものにし、携帯品は必要品のみにして背負うようにする。

家を出る前に火の元の確認を

ガスの元栓や、電気のブレーカーを切る。(停電復旧に伴う通電火災防止のため)



外出中に地震にあったら

さまざまな状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しましょう。

街頭や住宅地

- 鞄などで頭を保護し、近くの空き地、丈夫な建物の中や街路樹の下に避難する。(窓ガラスや看板等が落ちてくる危険があります。)
- ブロック塀・門扉・自動販売機・建設現場に近づかない。



車の運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車させてエンジンを切る。
- 急ブレーキは絶対に踏まない。
- 避難するときはロックせずに、キーをつけたままにする。(車検証や貴重品は持ち出すこと。)(緊急時に車を移動させる事があるため)



デパートやスーパー

- カバンや買い物カゴなどで頭を保護し、陳列ケースや陳列棚から離れ、柱や壁際に避難する。係員の指示に従って行動する。



オフィス街や繁華街

- ガラスや看板、ネオンサインなどの落下物に注意する。
- その場に立ち止まらず、手荷物で頭を守りながら広い場所に逃げる。
- 建物や電柱からも離れる。自動販売機も倒れてくる可能性があるので注意する。



電車やバスの中

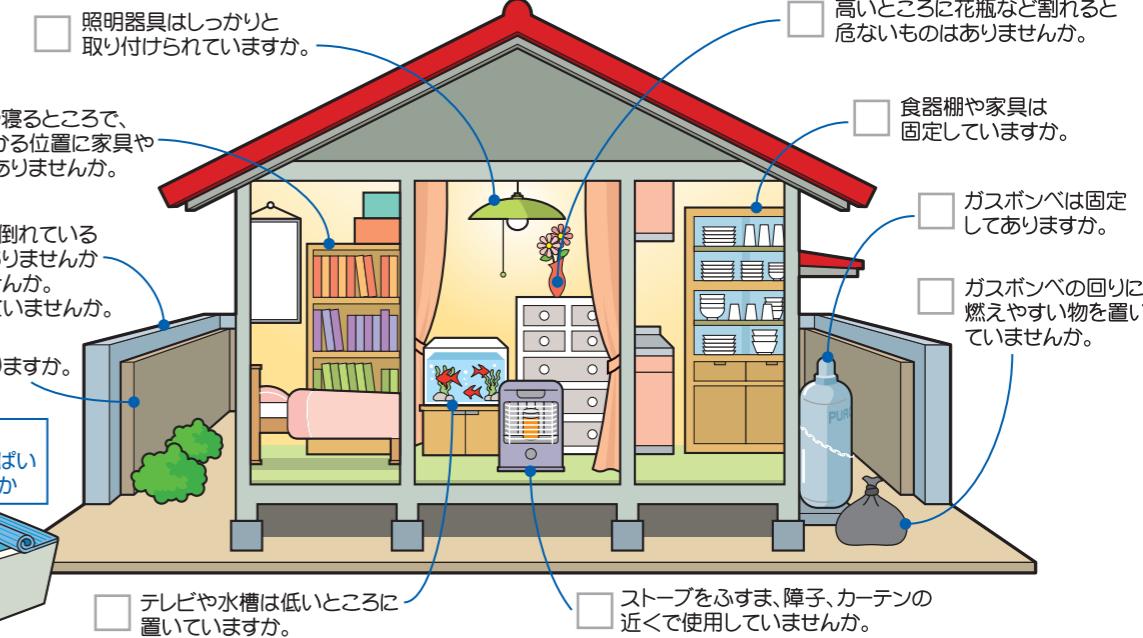
- 将棋倒しや網棚からの落下物に注意しつり革や手すりにしっかりとつかまる。
- 乗務員の指示に従って落ち着いて行動する。



家庭の安全対策

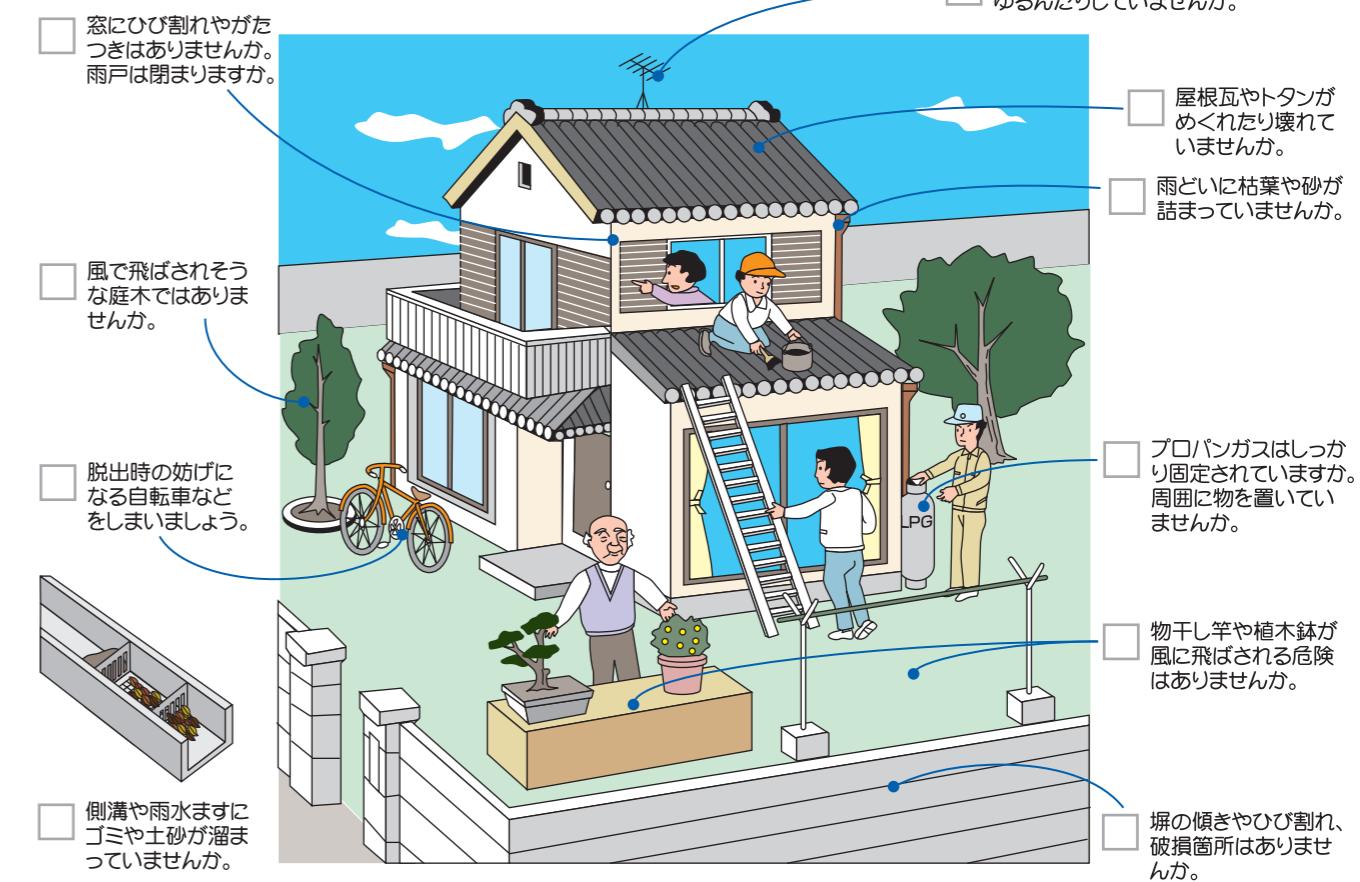
地震に備えて

点検してみましょう！



風水害に備えて

点検してみましょう！



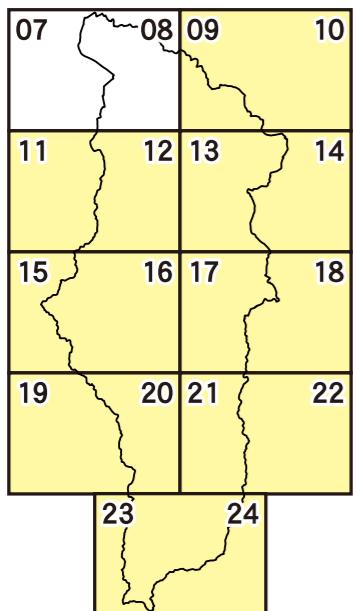
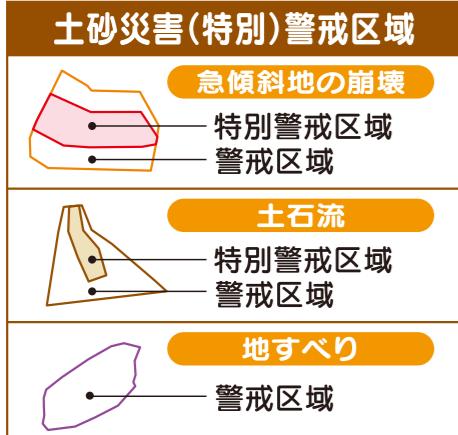
ゴミ箱や植木鉢の固定、庭木の添え木などの対策も有効です。商店などでは、看板のぐらつきがないか確認しましょう。



防災マップ

凡 例	
	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所)※
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	国道
	県道
幹線道路	

※公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。



●想定浸水深さの目安

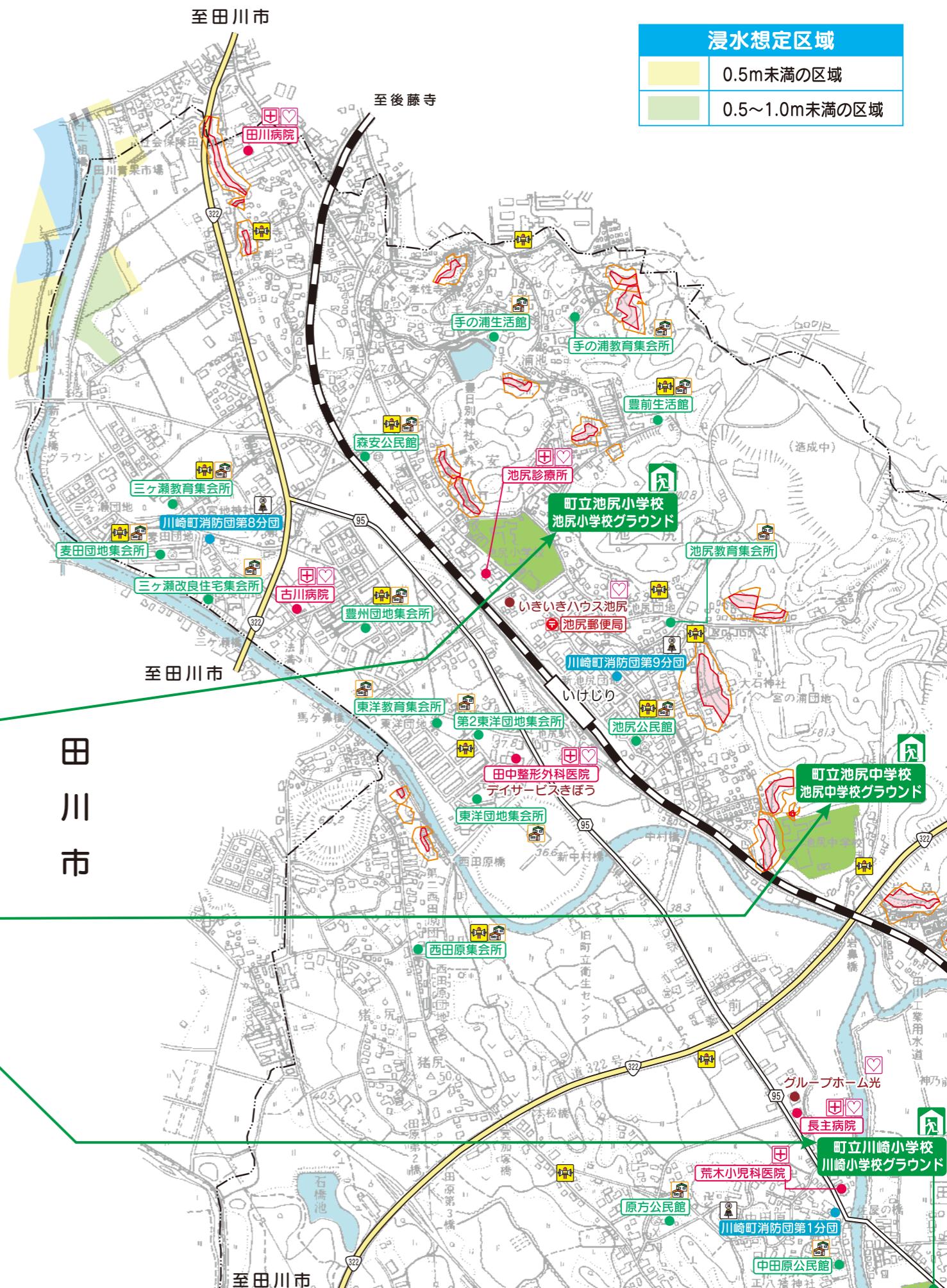


- 5.0m以上の区域
二階建ての家が屋根まで水没する
- 2.0～5.0m未満の区域
二階建ての軒下まで浸かる程度
- 1.0～2.0m未満の区域
一階部分で大人の頭まで浸かる程度
- 0.5～1.0m未満の区域
一階部分で大人の膝まで浸かる程度(床下浸水)
- 0.5m未満の区域
家の外で大人の膝まで浸かる程度(床下浸水)

- 水の流れが速い場合は10cm程度の水位でも歩行できないことがあります。
- 用水路などへの転落の可能性がある場合には、10cm程度の水位でも危険です。

指定緊急避難場所一覧

施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎 小学校	○	○	○	○	○
池尻 小学校	○	○	○	○	○
川崎東 小学校	○	○	○	○	○
真崎 小学校	○	○	○	○	○
川崎 中学校	○	○	×	○	○
池尻 中学校	○	○	×	○	○
鷹峰 中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	○	○	○



指 定 緊 急 避 難 場 所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所や施設です。

開設する指定緊急避難場所は、災害の状況等により異なります。

町が発表する情報を確認してください。

(防災無線や緊急速報メール、広報車、防災メール・まもるくんなどでお知らせします。)



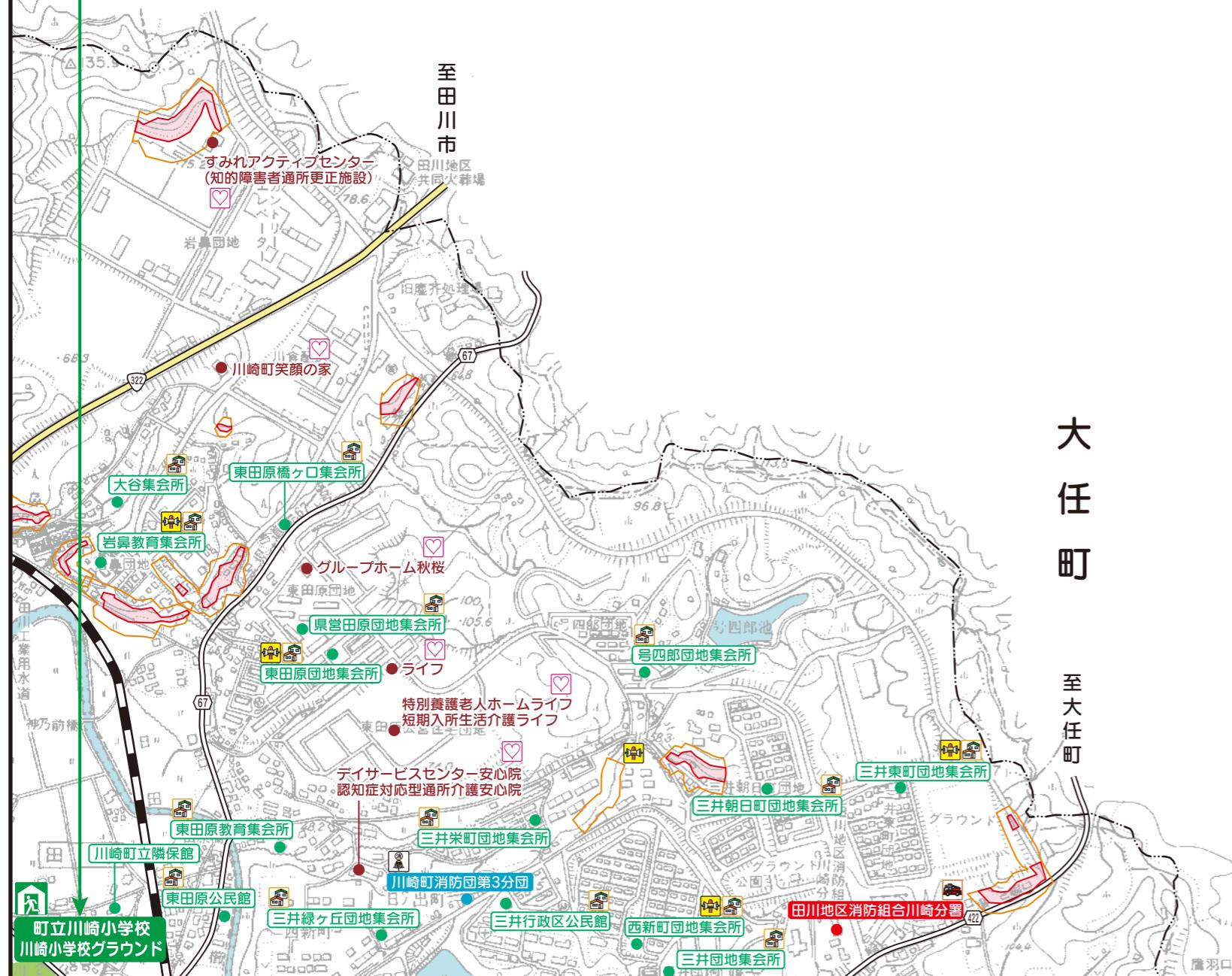
指定緊急避難場所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所や施設です。
開設する指定緊急避難場所は、災害の状況等により異なります。
町が発表する情報を確認してください。
(防災無線や緊急速報メール、広報車、防災メール・まもるくんなどでお知らせします。)

田川市

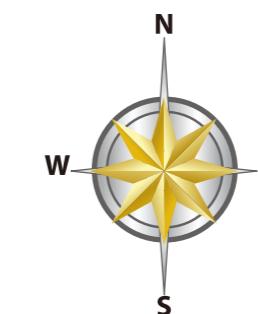
至田川市

至田川市



大任町

至大任町



1 : 10,000

500

1000m

鷹羽ロイヤルカントリークラブゴルフ場

指定緊急避難場所一覧

施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎小学校	○	○	○	○	○
池尻小学校	○	○	○	○	○
川崎東小学校	○	○	○	○	○
真崎小学校	○	○	○	○	○
川崎中学校	○	○	×	○	○
池尻中学校	○	○	×	○	○
鷹峰中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	○	○	○

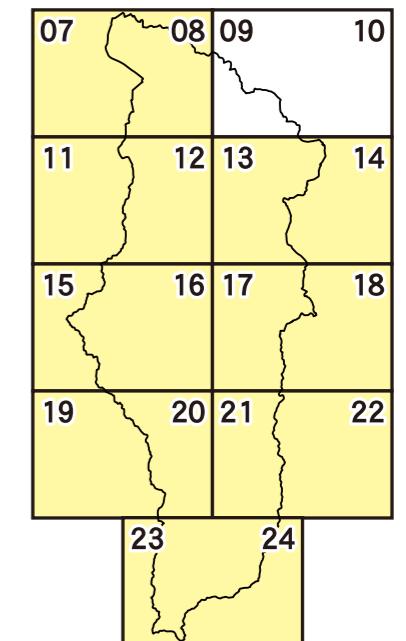
凡例

	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所) [*]
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	国道 県道
	幹線道路

*公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

土砂災害(特別)警戒区域

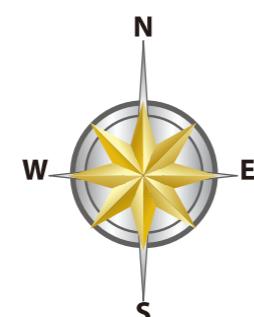
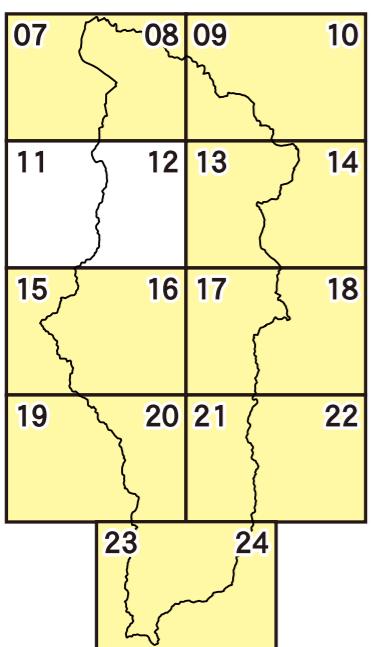
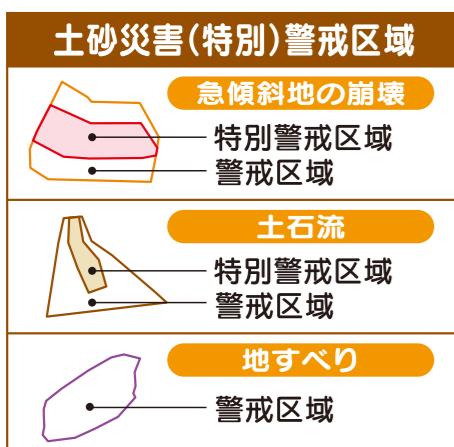
	急傾斜地の崩壊 特別警戒区域 警戒区域
	土石流 特別警戒区域 警戒区域
	地すべり 警戒区域





凡 例	
	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所)※
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	幹線道路

※公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。



1 : 10,000

500
1000m

指定緊急避難場所一覧	
施設名	対象とする異常な現象
コミュニティセンター	○ ○ ○ ○ ○
川崎町民会館	○ ○ ○ × ○
川崎町中央体育館	○ ○ ○ × ○
B&G海洋センター	○ ○ ○ ○ ○
川崎 小学校	○ ○ ○ ○ ○
池尻 小学校	○ ○ ○ ○ ○
川崎東小学校	○ ○ ○ ○ ○
真崎 小学校	○ ○ ○ ○ ○
川崎 中学校	○ ○ × ○ ○
池尻 中学校	○ ○ × ○ ○
鷹峰 中学校	○ ○ ○ ○ ○
安宅交流センター	○ ○ × ○ ○
大峰ふれあいセンター	○ ○ ○ ○ ○

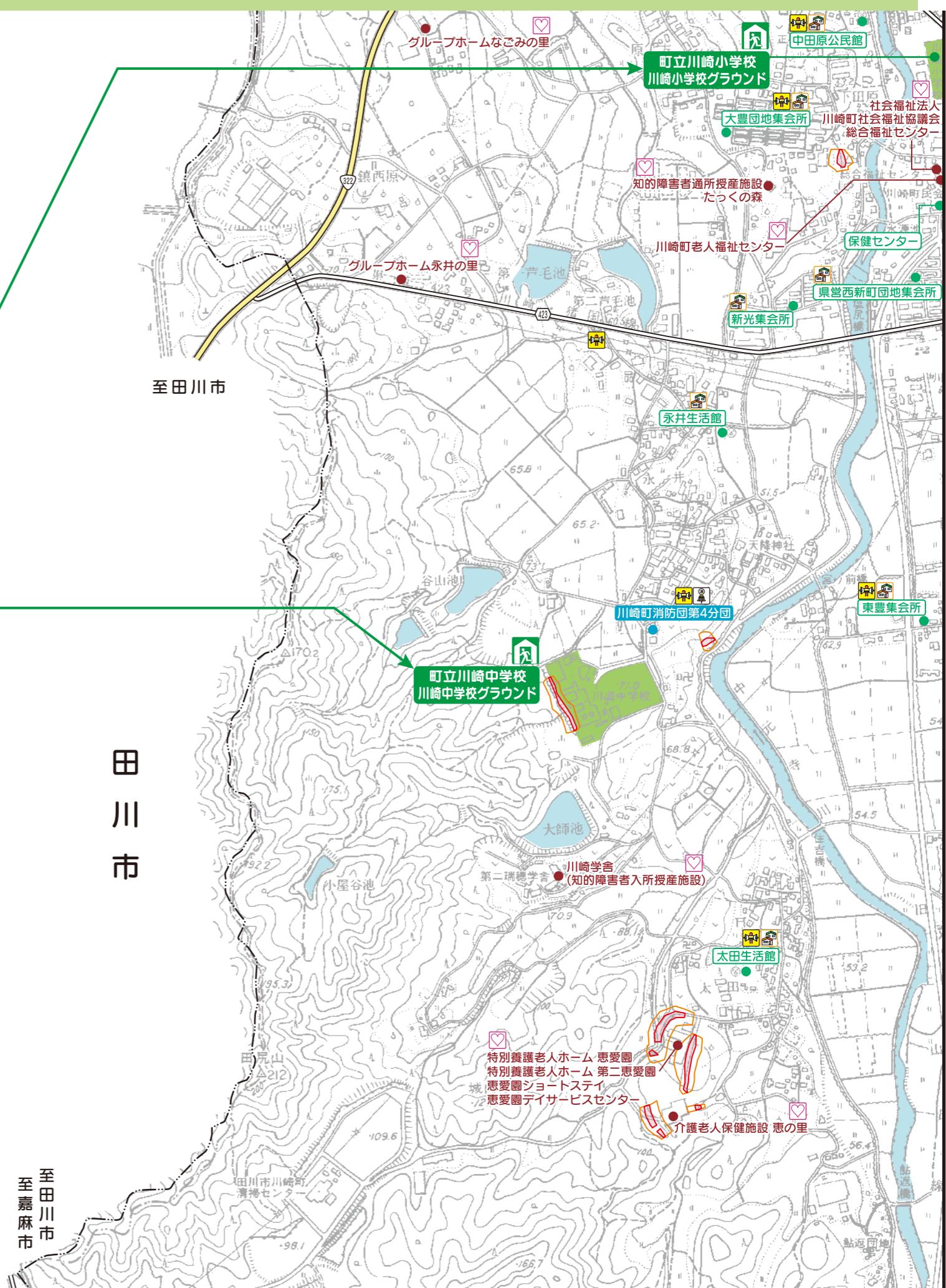
指 定 緊 急 避 難 場 所

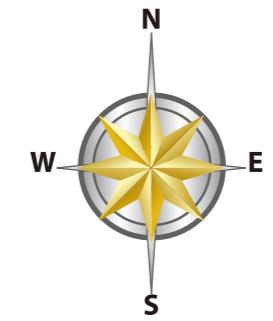
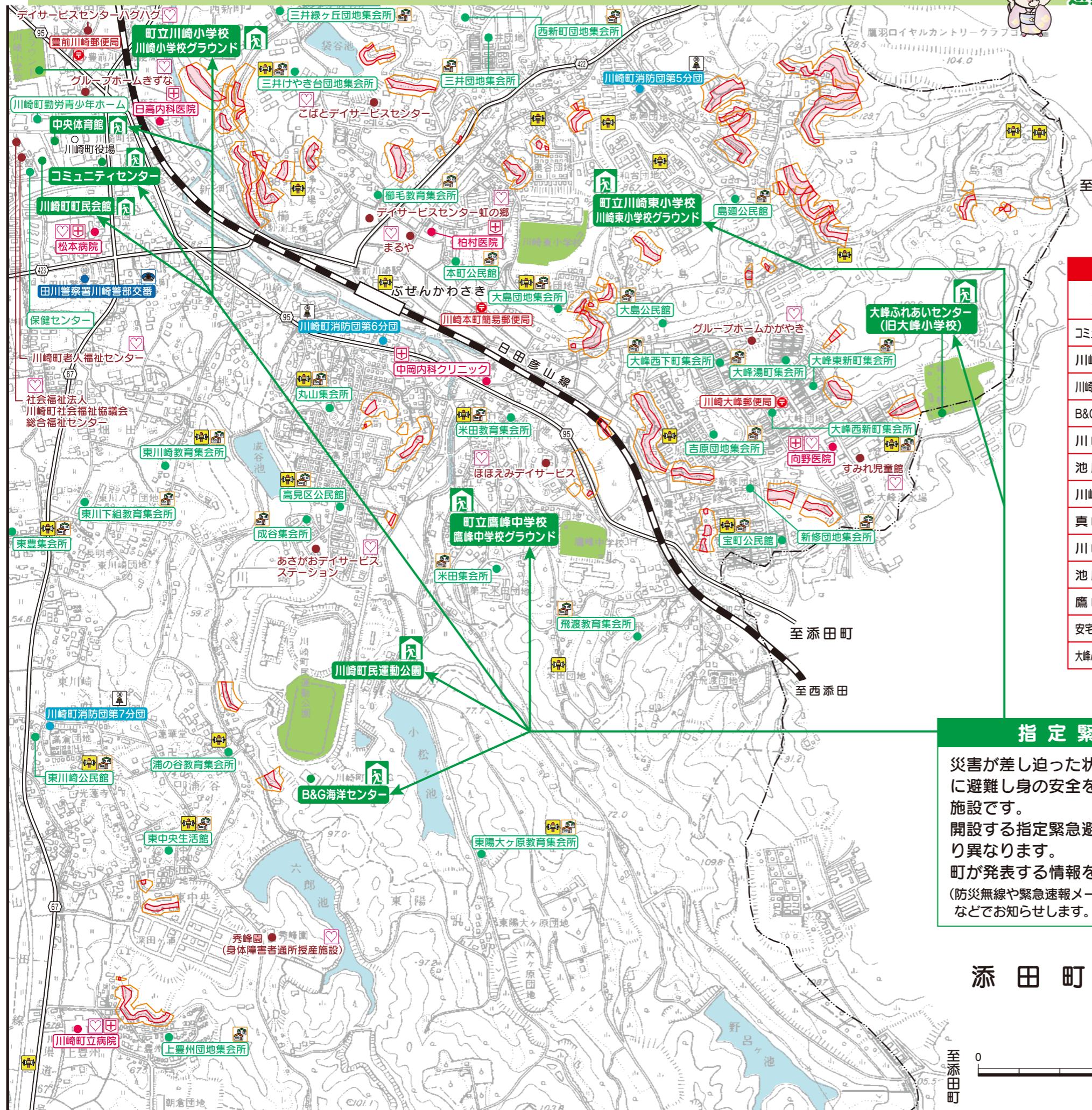
災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所や施設です。

開設する指定緊急避難場所は、災害の状況等により異なります。

町が発表する情報を確認してください。

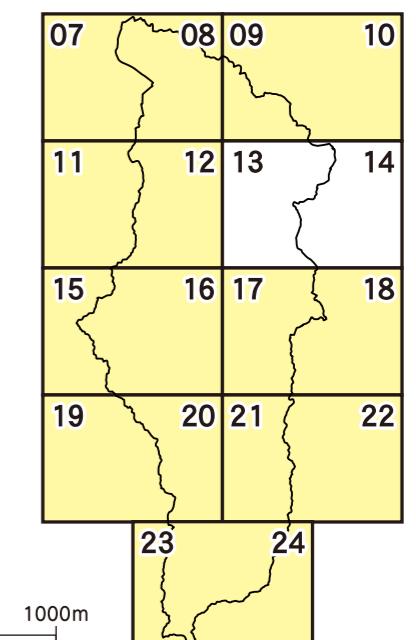
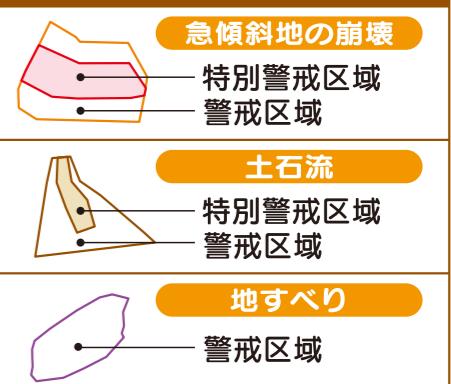
(防災無線や緊急速報メール、広報車、防災メール・まもるくんなどでお知らせします。)



**凡例**

	指定緊急避難場所
	指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所)※
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	幹線道路

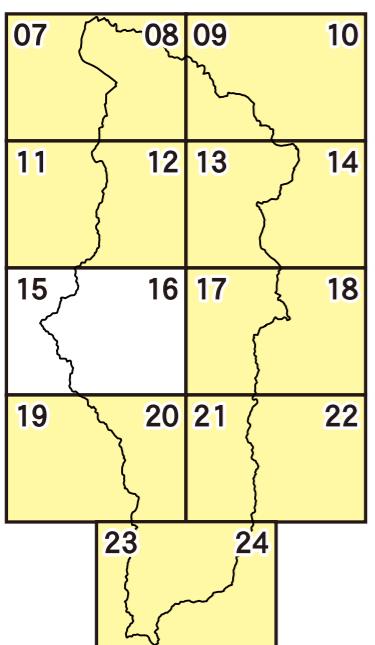
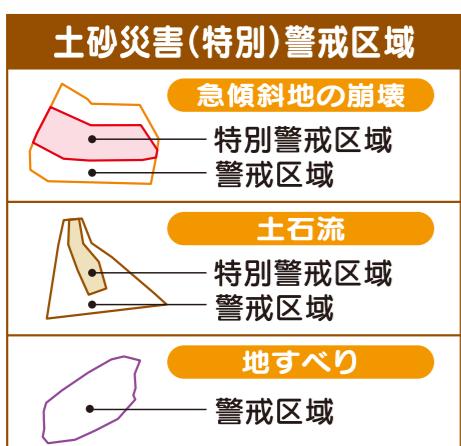
※公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

土砂災害(特別)警戒区域



凡 例	
	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所)※
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	国道 県道 幹線道路

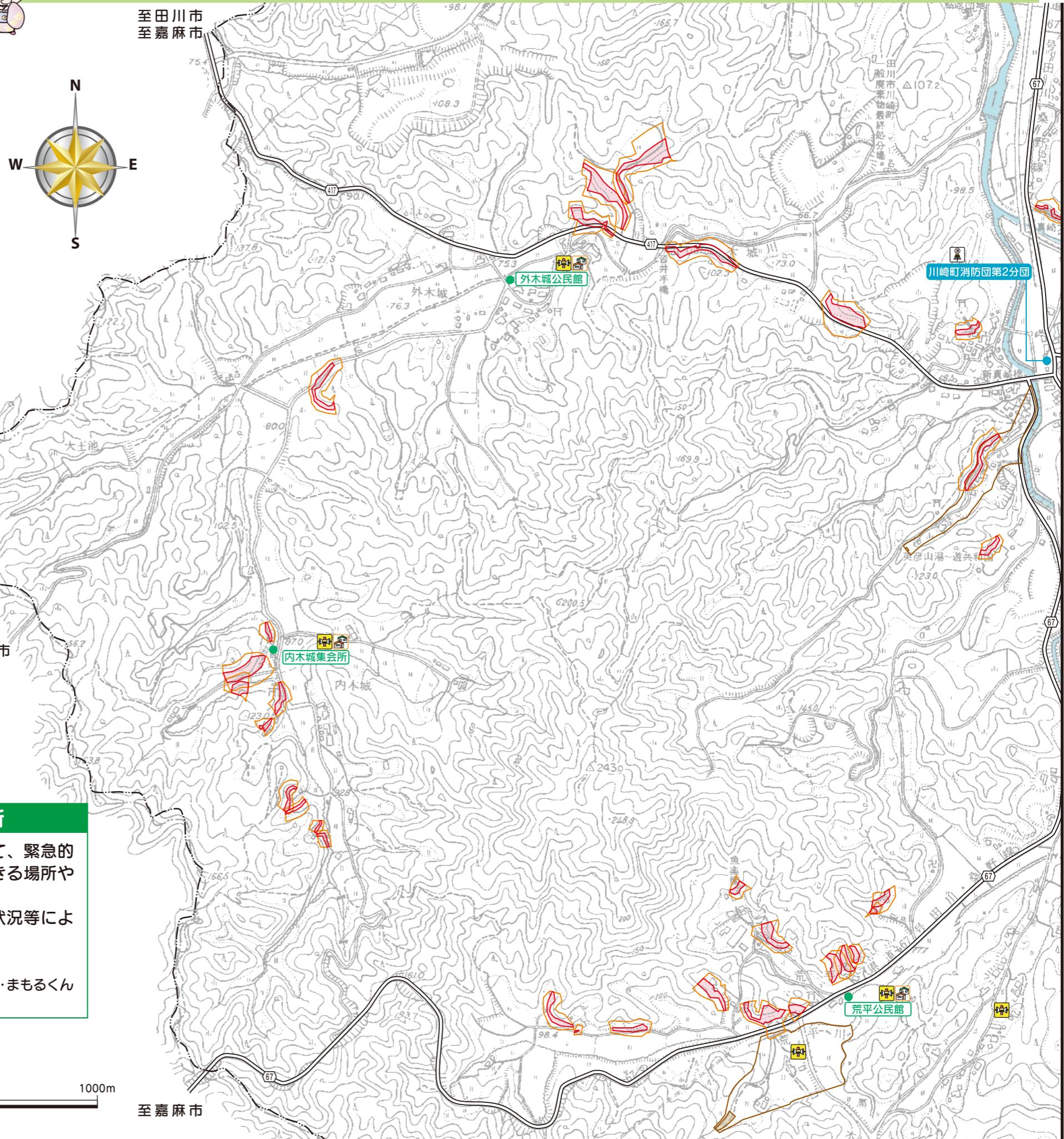
※公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

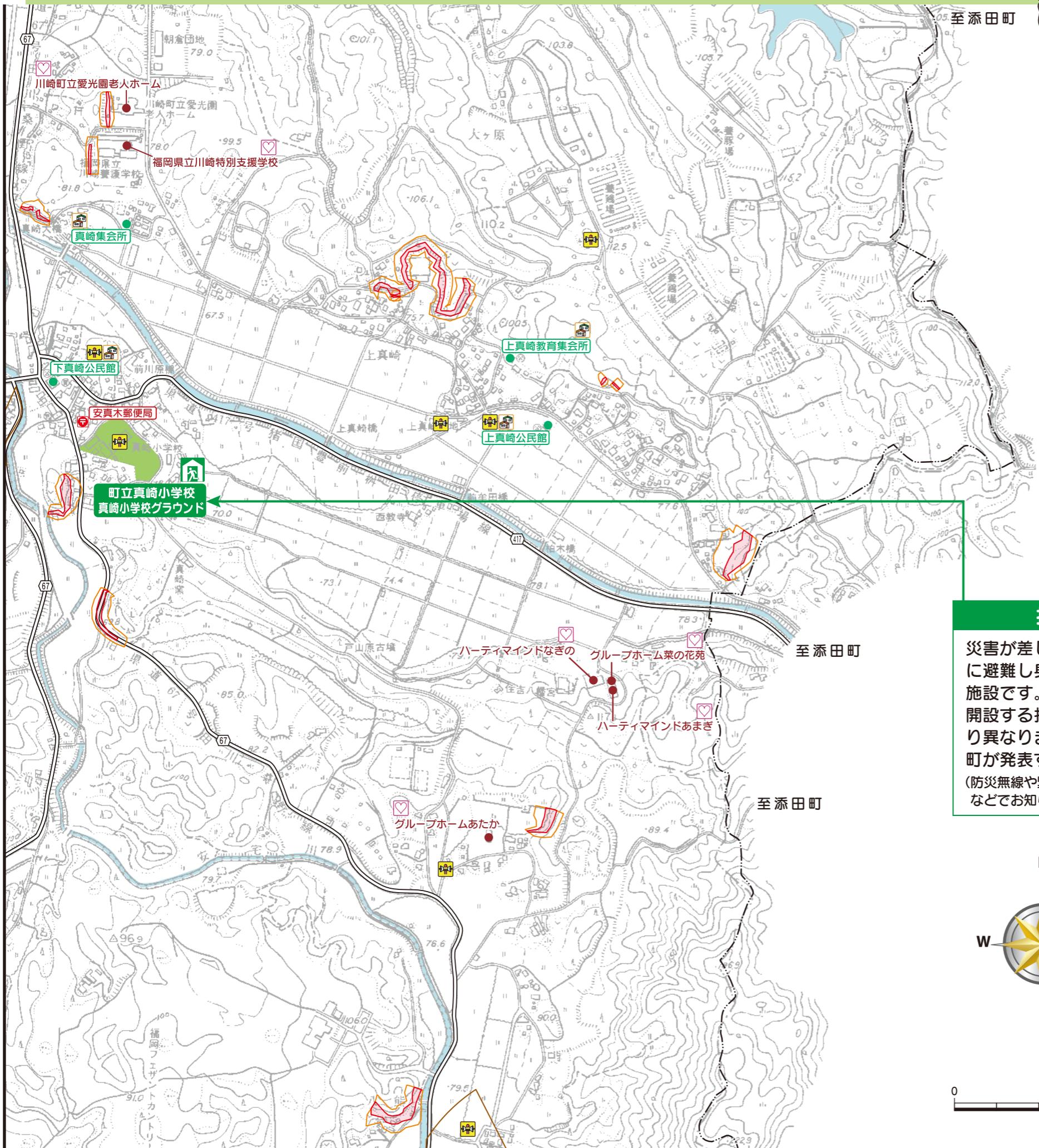


指定緊急避難場所一覧

施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎小学校	○	○	○	○	○
池尻小学校	○	○	○	○	○
川崎東小学校	○	○	○	○	○
真崎小学校	○	○	○	○	○
川崎中学校	○	○	×	○	○
池尻中学校	○	○	×	○	○
鷹峰中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	×	○	○

嘉 麻 市





ひなんばしょ
けいろふだん
にん
避難場所までの経路を普段から確認しておきましょう。

指定緊急避難場所一覧

施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎小学校	○	○	○	○	○
池尻小学校	○	○	○	○	○
川崎東小学校	○	○	○	○	○
真崎小学校	○	○	○	○	○
川崎中学校	○	○	×	○	○
池尻中学校	○	○	×	○	○
鷹峰中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	○	○	○

凡 例

	指定緊急避難場所
	指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所) [*]
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	国道
	県道

^{*}公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

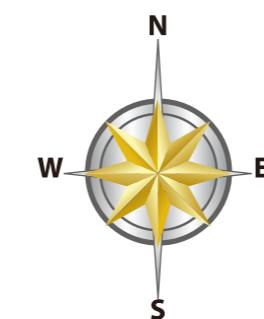
土砂災害(特別)警戒区域

	急傾斜地の崩壊
	特別警戒区域
	警戒区域
	土石流
	特別警戒区域
	警戒区域
	地すべり
	警戒区域

添 田 町

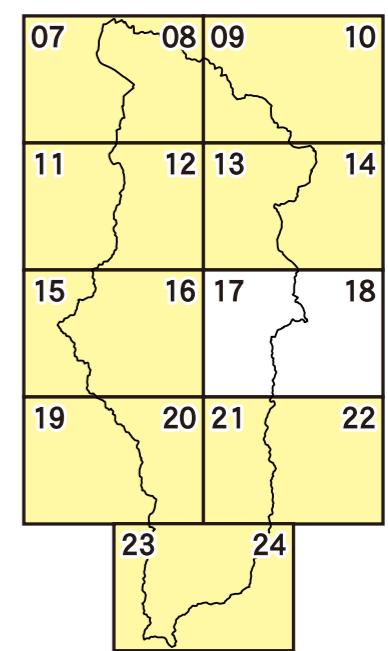
指 定 緊 急 避 難 場 所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所や施設です。
開設する指定緊急避難場所は、災害の状況等により異なります。
町が発表する情報を確認してください。
(防災無線や緊急速報メール、広報車、防災メール・まもるくんなどでお知らせします。)



1 : 10,000

0 500 1000m

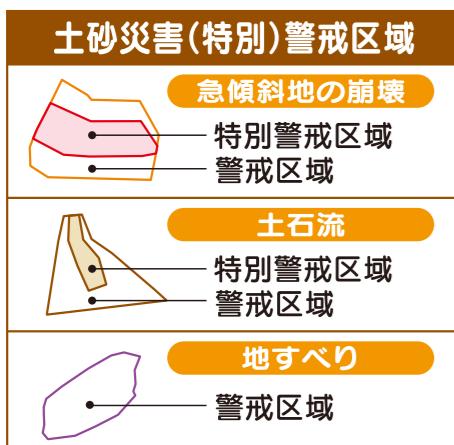




凡 例	
	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所) [*]
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	幹線道路

*公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

指定緊急避難場所一覧					
施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎小学校	○	○	○	○	○
池尻小学校	○	○	○	○	○
川崎東小学校	○	○	○	○	○
真崎小学校	○	○	○	○	○
川崎中学校	○	○	×	○	○
池尻中学校	○	○	×	○	○
鷹峰中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	○	○	○



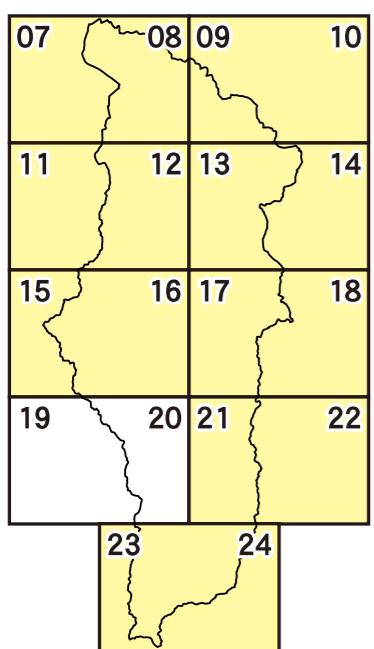
指 定 緊 急 避 難 場 所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所や施設です。

開設する指定緊急避難場所は、災害の状況等により異なります。

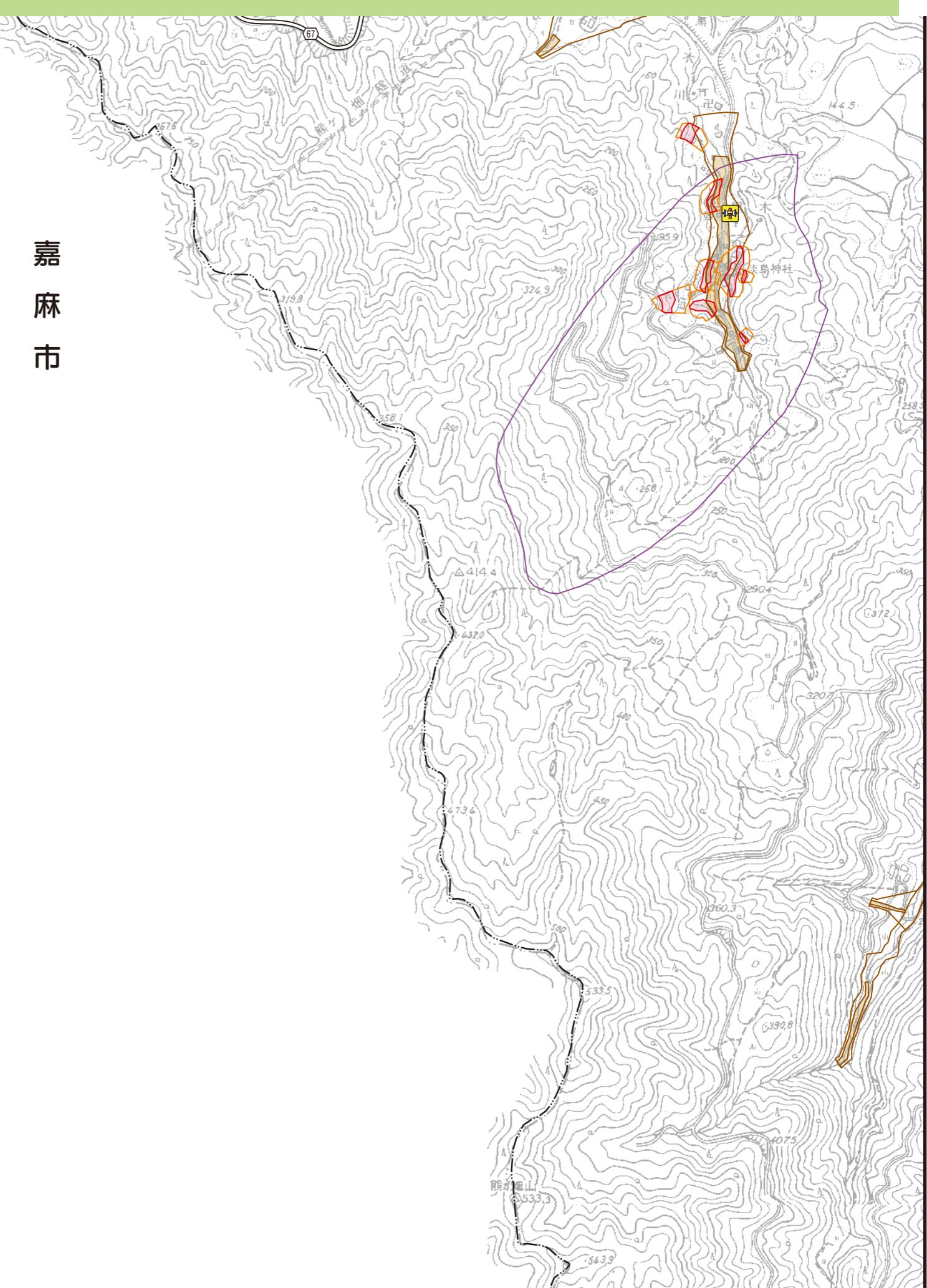
町が発表する情報を確認してください。

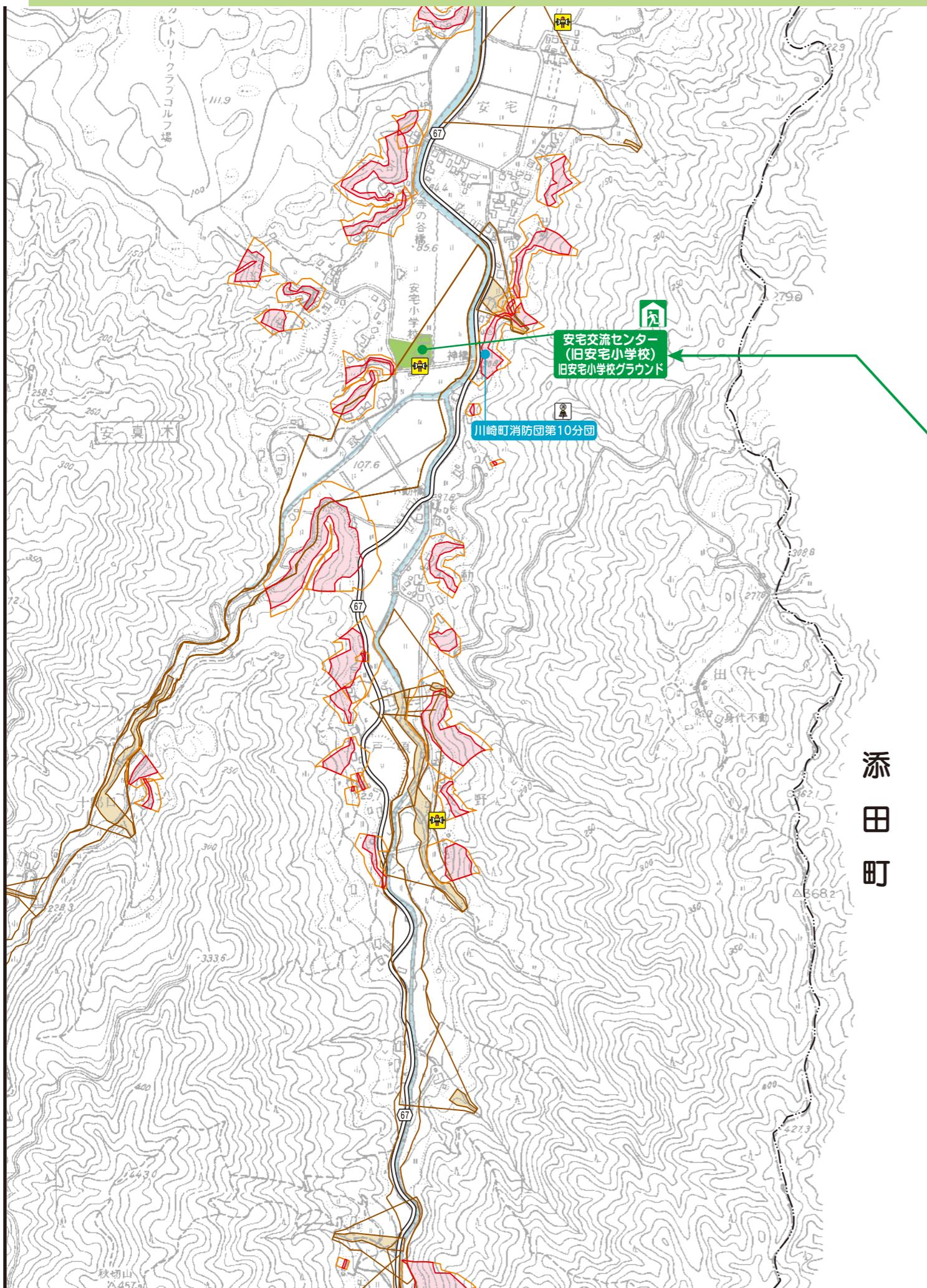
(防災無線や緊急速報メール、広報車、防災メール・まもるくんなどでお知らせします。)



1 : 10,000

0 500 1000m





指定緊急避難場所一覧

施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎小学校	○	○	○	○	○
池尻小学校	○	○	○	○	○
川崎東小学校	○	○	○	○	○
真崎小学校	○	○	○	○	○
川崎中学校	○	○	×	○	○
池尻中学校	○	○	×	○	○
鷹峰中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	○	○	○

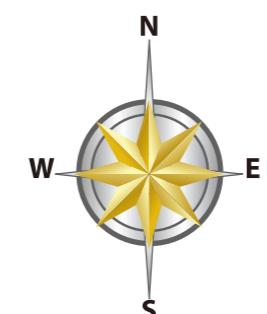
凡 例

	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所)※
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	国道 県道

※公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

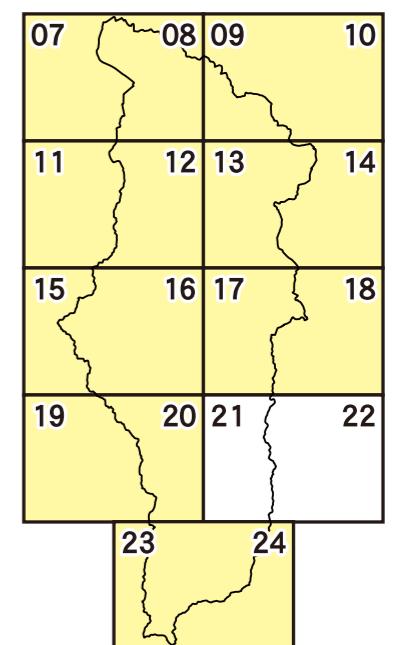
土砂災害(特別)警戒区域

	急傾斜地の崩壊 特別警戒区域 警戒区域
	土石流 特別警戒区域 警戒区域
	地すべり 警戒区域



1 : 10,000

0 500 1000m

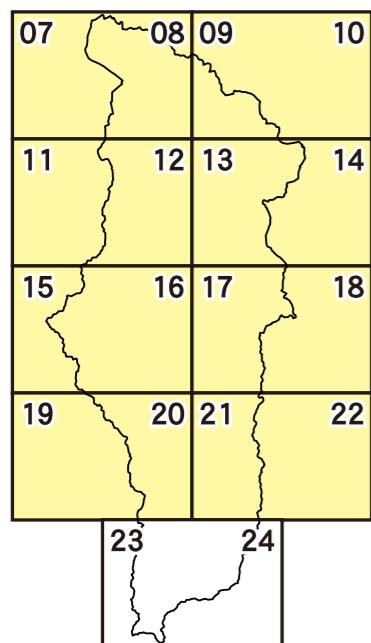




凡 例	
	指定緊急避難場所 指定避難所
	公民館・集会所(自主避難場所)※
	要援護施設
	病院
	無線局
	郵便局
	警察署・交番
	消防署
	消防団格納庫
	国道 県道
	幹線道路

※公民館・集会所(自主避難場所)は26ページに掲載しています。

土砂災害(特別)警戒区域	
	急傾斜地の崩壊 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域



嘉 麻 市

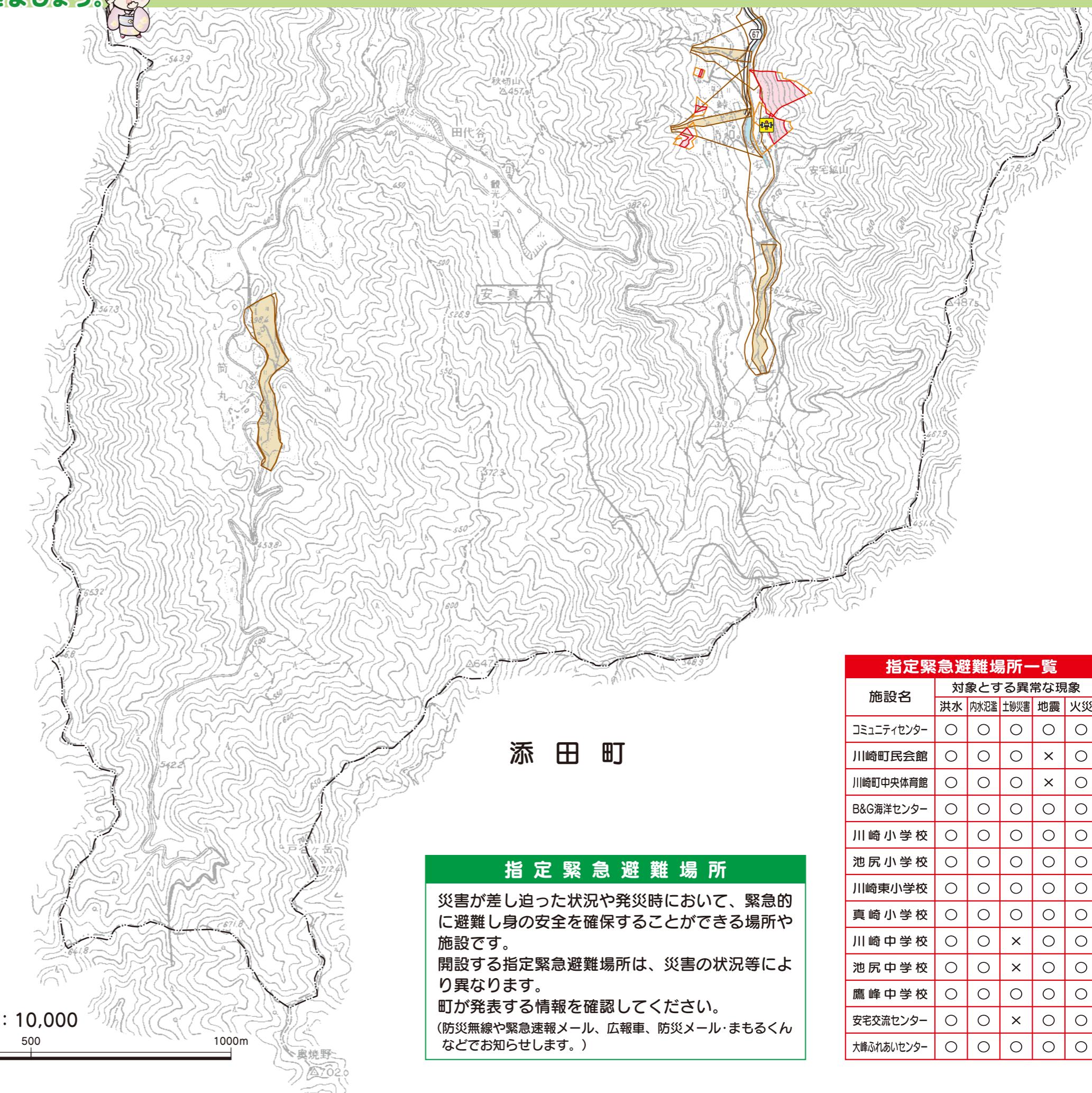
1 : 10,000

0

500

1000m

奥焼野
△702.0



添 田 町

指 定 緊 急 避 難 場 所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し身の安全を確保することができる場所や施設です。

開設する指定緊急避難場所は、災害の状況等により異なります。

町が発表する情報を確認してください。

(防災無線や緊急速報メール、広報車、防災メール・まもるくんなどでお知らせします。)

施設名	対象とする異常な現象				
	洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災
コミュニティセンター	○	○	○	○	○
川崎町民会館	○	○	○	×	○
川崎町中央体育館	○	○	○	×	○
B&G海洋センター	○	○	○	○	○
川崎小学校	○	○	○	○	○
池尻小学校	○	○	○	○	○
川崎東小学校	○	○	○	○	○
真崎小学校	○	○	○	○	○
川崎中学校	○	○	×	○	○
池尻中学校	○	○	×	○	○
鷹峰中学校	○	○	○	○	○
安宅交流センター	○	○	×	○	○
大峰ふれあいセンター	○	○	○	○	○

指定緊急避難場所および指定避難所について

指定緊急避難場所とは

指定緊急避難場所は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、洪水、土砂災害、地震災害などの異常な現象の種類ごとに安全性等の一定の基準を満たす施設又は場所を指定しています。

指定避難所とは

指定避難所は、災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設として指定しています。

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

避難施設名	住所	連絡先 (0947)	指定緊急避難所としての指定					指定避難所としての指定	
			対象とする異常な現象						
			洪水	内水氾濫	土砂災害	地震	火災		
コミュニティセンター	大字田原786-2	72-3000	○	○	○	○	○	○	
川崎町民会館	大字田原804	73-2971	○	○	○	×	○	○	
川崎町中央体育館	大字田原791	72-4239	○	○	○	×	○	○	
B&G海洋センター	大字川崎1348-1	73-3899	○	○	○	○	○	○	
川崎小学校	大字田原714	73-2043	○	○	○	○	○	○	
池尻小学校	大字池尻923	44-0111	○	○	○	○	○	○	
川崎東小学校	大字川崎248	73-2511	○	○	○	○	○	○	
真崎小学校	大字安眞木4917-2	73-2002	○	○	○	○	○	○	
川崎中学校	大字川崎3670	73-2013	○	○	×	○	○	○	
池尻中学校	大字池尻1150	42-1188	○	○	×	○	○	○	
鷹峰中学校	大字川崎517	73-2346	○	○	○	○	○	○	
安宅交流センター	大字安眞木1374	72-6766	○	○	×	○	○	○	
大峰ふれあいセンター	大字川崎35	-	○	○	○	○	○	○	

- 川崎町民会館・川崎町中央体育館は地震の場合、使用できません。
- 川崎中学校・池尻中学校・安宅交流センターは土砂災害の危険が高まっている場合、使用できません。
- 災害の発生が予想されるときに住民の方が自主的な避難をする場合、コミュニティセンターを自主避難場所として開設します。

補足事項



公民館・集会所(自主避難場所)一覧

施設名	施設名	施設名	施設名
上真崎公民館	池尻公民館	太田生活館	三井東町団地集会所
上真崎教育集会所	池尻教育集会所	新修団地集会所	三井朝日町団地集会所
真崎集会所	大峰西下町集会所	島廻公民館	原方公民分館
下真崎公民館	大峰西新町集会所	新光集会所	大豊団地集会所
荒平公民館	大峰湯町集会所	永井生活館	号四郎団地集会所
内木城集会所	大峰東新町集会所	宝町公民館	西田原集会所
外木城公民館	東川崎教育集会所	米田教育集会所	東田原団地集会所
第二東洋団地集会所	東川下組教育集会所	飛渡教育集会所	県営田原団地集会所
東洋教育集会所	大島公民館	米田集会所	東田原橋ヶ口集会所
東洋団地集会所	東豊集会所	東陽大ヶ原教育集会所	岩鼻教育集会所
豊前生活館	県営西新町団地集会所	高見区公民館	大谷集会所
手の浦生活館	浦の谷教育集会所	成谷集会所	三井緑ヶ丘団地集会所
手の浦教育集会所	東中央生活館	丸山集会所	東田原教育集会所
三ヶ瀬改良団地集会所	大島団地集会所	櫛毛教育集会所	三井けやき台集会所
麦田団地集会所	上豊州団地集会所	吉原団地集会所	東田原公民館
三ヶ瀬教育集会所	三井栄町団地集会所	三井行政区公民館	中田原公民館
豊州団地集会所	東川崎公民館	三井団地集会所	
森安公民館	本町公民館	西新町団地集会所	

補足事項

○公民館・集会所は、所有または管理する地元の区長等の判断もしくは災害の発生する恐れがある場合などに町が区長等と協議して、自主避難場所として開設されます。



医療機関一覧

施設名	所在地	電話番号
社会保険田川病院	田川市上本町10-18	0947-44-0460
古川病院	川崎町大字池尻296	0947-44-0367
池尻診療所	川崎町大字池尻882-1	0947-42-0903
田中整形外科医院	川崎町大字池尻329-8	0947-42-2776
長主病院	川崎町大字田原1121	0947-72-7383
あらき小児科医院	川崎町大字田原1021	0947-73-2131
日高内科医院	川崎町大字田原552-3	0947-73-2500
松本病院	川崎町大字川崎1681-1	0947-73-2138
中岡内科クリニック	川崎町大字川崎459	0947-73-2088
向野医院	川崎町大字川崎24-2	0947-72-5610
川崎町立病院	川崎町大字川崎2430-1	0947-73-2171
柏村医院	川崎町大字川崎403-2	0947-73-2682

応急手当の方法

知っておきたい応急手当

出血がひどい場合

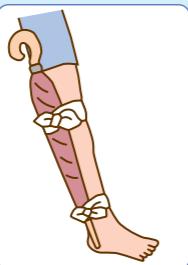
- 出血している傷口をガーゼやハンカチなどで直接強く押さえて、しばらく圧迫します。
- ガーゼなどの当て布に血液がにじんできたら、もとのガーゼを取り除かずに、その上から別の当て布を重ねてのせ、圧迫し続ける。
- 片手で止まらない場合は、両手で圧迫する。
- 手足などの傷口は、心臓より高く上げておく。



*感染予防のため、血液には直接触れないこと。できればゴム手袋やビニール手袋を使用する。

骨折の疑いがある場合

- 骨折部、その上下の関節を動かさないようにして傷や出血の手当をする。
- 骨折部を中心に前後の関節を副木で固定して、骨折した所が動かないようにします。副木は手近で代用できるものを使います。



熱傷(やけど)の場合

■軽～中症の熱傷

- できるだけ早く水道水を流しながら、洗面器などに患部をつけて痛みが治まるまで冷やす。
- 十分に冷やしたら清潔なガーゼなどをあてて、すぐに病院を受診する。



■重症の熱傷

- 範囲の「広い」やけど、「深い」やけどがあったら、または熱い煙を吸い込んだ時は気道熱傷の恐れがあるため、すぐに119番に通報する。

救命処置の流れ(心肺蘇生法とAEDの使用)

AEDとは、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショックを与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器です。

1 反応を確認する

耳もとで「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるかないかをみます。



2 助けを呼ぶ(反応がなければ)

大きな声で協力者を集めて、**AED** 119番へ通報とAEDの手配を要請します。



3 気道の確保と呼吸の確認

傷病者の喉の奥を広げて空気を肺に通しやすくします。(気道の確保)
普段どおりの呼吸をしているか、10秒以内で胸や腹部の上がり下がりをしているか確認する。



*心停止が起った直後には、しゃくりあげるような、途切れ切れて起きる呼吸がみられることがあります、これは普段どおりの呼吸ではありません。

5 人工呼吸(口対口人工呼吸)

気道を確保したまま鼻をつまみ、息を約1秒かけて吹き込みます。傷病者の胸が持ち上がるのを確認します。いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込みます。
(傷病者に出血がある場合や、感染防護具を持っていない場合には省略します。)



6 心肺蘇生法の実施(胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ)

胸骨圧迫を30回連続して行った後に、人工呼吸を2回行います。この胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ(30:2のサイクル)を、救急隊に引き継ぐまで絶え間なく続けます。もし、救助者が二人以上いる場合は、2分間程度を目安に交代しましょう。



7 AEDが到着したら

心肺蘇生法を行っている途中で、AEDが届いたらすぐにAEDを使う準備を始めます。AEDは電源が入ると音声メッセージとランプで、あなたが実施すべきことを指示してくれますので、落ち着いてそれに従ってください。



4 心臓マッサージ(呼吸がなければ)

胸の真ん中に、片方の手の付け根を置き、他方の手をその手の上に重ねます。肘をまっすぐに伸ばして手の付け根の部分に体重をかけ、傷病者の胸が4～5cm沈むほど強く圧迫します。1分間に100回の速いテンポで30回連続して絶え間なく圧迫します。



反応はないが正常な呼吸をしている場合は……回復体位！

吐物等による窒息の危険があるか、やむを得ず傷病者のそばを離れるときには、傷病者を回復体位にします。下あごを前に出し、上側の手の甲に傷病者の顔をのせる。さらに、上側の膝を約90度曲げて、傷病者が後ろに倒れないようにします。

非常持ち出し品と非常備蓄品

非常持ち出し品

避難するときに最初に持ち出します。あまり欲張らず、男性で15kg、女性で10kg程度の重さを自安に準備しましょう。また、両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめましょう。

非常持ち出し品チェックリスト

チェックしてみましょう！

■飲料水・食品

- 飲料水(1人最低1.5リットル)
- 非常食(カンパン・缶詰・レトルト食品)
※乳幼児がいる場合は粉ミルクなども



■救急・安全対策

- 救急医薬品
- 常備薬の予備
- ヘルメット、防災ズキン
□笛



■貴重品

- 現金
- 預金通帳
- カード類
- 印鑑
- 健康保険証
- 免許証
- 権利証書類
- 家・車の鍵
- 住所録



■衣類など

- 衣類、下着類、靴下
- タオル、マスク
- 防寒具、雨具
- 手袋、軍手



■生活用品・その他

- 携帯ラジオ
- 携帯電話(充電器)
- 懐中電灯
- 乾電池
- ライター(マッチ)
- 食器(紙皿・紙コップ・割りばし)
- 缶切り
- 栓抜き
- 万能ナイフ
- ティッシュ
- トイレットペーパー
- ガムテープ
- 生理用品



備蓄品保管上の注意点

■備蓄食品の賞味期限が過ぎないように気をつけましょう。

9月1日の防災の日など、毎年、日を決めて新しいものに入れ替えましょう。



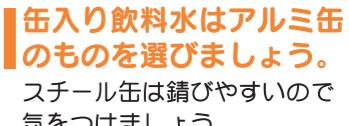
■容器は丈夫なものを使いましょう。

袋入りの物は、害虫やネズミなどから守るためにプラスチック容器などに入れて保管しましょう。



■備蓄食品は冷暗所で保管しましょう。

食品は、日当たりの良い所や、湿度の高い所はいたみが早いので、冷暗所に保管しましょう。



非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日分)を生活できるように準備しておくものです。

非常備蓄品チェックリスト

チェックしてみましょう！

■飲料水・食品・調理器具類

- 飲料水(1人1日3リットル程度)
- 缶詰、ロートルト食品、ドライフーズ
- 調味料、カセットコンロ、予備のガスボンベ
- ガスボンベ、キヤンブ用食器セット

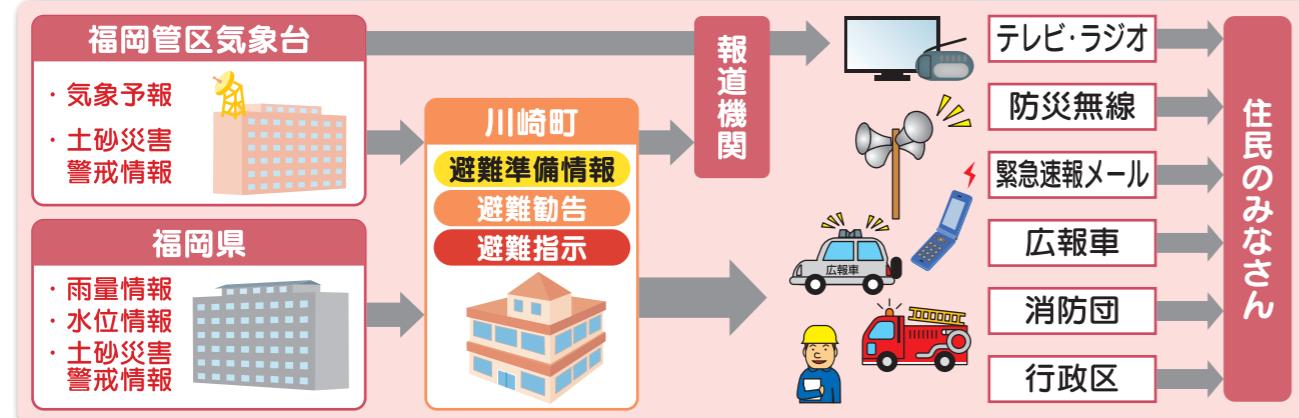
■生活用品

- テント、防寒防水マット、毛布、寝袋
- 洗面用具、工具類、簡易トイレ、ブルーシート
- トイレットペーパー、救急セット、常備薬
- 生理用品、その他個人で生活に必要なもの

防災情報について

情報伝達の経路

災害発生が予想されるときは、その状況に応じて町から避難勧告・避難指示が出されます。これらの情報は、防災無線や広報車、ラジオ・テレビなどによって住民のみなさんに伝えられますので、呼びかけに注意してください。



町が発表する避難情報

種類	避難準備情報	避難勧告	避難指示
状況の発令時	●災害による人的被害が発生する可能性が高まっている状況。	●災害による人的被害が発生する可能性がさらに高まった状況。	●状況がさらに悪化し、災害によって人的被害が出る危険性が非常に高まつた場合や人的被害が発生した状況。
行動べき	●高齢者や障がい者など支援が必要な方(災害時要援護者)は、支援者とともに早めに自主的な避難を始めてください。 ●避難所の確認や非常持ち出し品を用意するなどいつでも避難できるように準備してください。	●火の始末・戸締まりを完全にし、非常持ち出し品を持参して、指定された避難所へ避難を始めてください。	●指定された避難所へ直ちに避難してください。 ●避難に移る時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をとってください。

インターネットでの情報収集

■福岡管区気象台 http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/	■福岡県土木防災情報 http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/
■福岡県河川防災情報 http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/	■福岡県土木防災情報(携帯版) http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/
■国土交通省防災情報センター http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/	■気象庁 http://www.jma.go.jp/jma/index.html

防災メール・まもるくん

福岡県が提供する防災情報等メール配信システム「防災メール・まもるくん」は、大雨や台風、地震・津波などの気象情報や避難勧告などの防災情報をメールで知らせるサービスです。今後の防災情報把握のためにぜひご登録ください。

登録方法(登録無料) ※登録は無料ですが、パケット料金(通信料金)は利用者の負担となります。

1)空メールを送信して登録する場合 ➔ mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

上記アドレスに空メールを送信し、その返信メールの内容に従って登録を行ってください。

2)ホームページから登録する場合 ➔ <http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/>

上記ホームページURLにアクセスし、画面の指示に従って登録手続きを行ってください。



わが家の防災メモ

家族で話し合い記入しておきましょう

避難場所

わが家の避難所	家族が離ればなれになったときの集合場所

親戚、知人などの連絡先

氏名	住所	電話番号	勤務先、学校など

家族の緊急用データ

氏名	生年月日	連絡先	電話番号	血液型	既往症

救助を求めるときのわが家の目標物等を記入しておきましょう

緊急連絡は落ち置いて

氏名	
住所	
わが家の目標	
電話番号	

メモ欄

--